

回 答 書

2025「国際湿地都市 NIIGATA」プロモーション業務委託 受託候補者選定プロポーザル実施要項に基づき、質問事項について下記のとおり回答いたします。

No	質 問	回 答
1	仕様書：3（1）プロモーション戦略策定について、関係者ヒアリングの対象となる「関係者」の定義や具体的な候補はありますか？市が設定する範囲を教えてください。	「新潟市里潟研究ネットワーク会議（会員数約 30 団体）」をはじめ、潟・河川・水田などの湿地および水辺の保全・利活用に関わる事業者（営利・非営利問わず）を想定しています。
2	仕様書：3（1）プロモーション戦略策定について、適切な KPI（例：市民認知度、ホームページアクセス数）を設定するとあるが、市が設定を想定している具体例や過去の参考値があればご提示ください。効果測定の方法・指標において、市が重視する評価軸（定量・定性、アンケート手法等）はありますか？	本事業において、補助・アドバイスを受け、策定するプロモーション戦略に沿って、必要な KPI の設定を考えています。 効果測定において、本市が重視する評価軸の指定は特にありませんが、本市が目指す「理想の未来」像（仕様書 2 ページ）をふまえ、各プロモーションにおいて受託者が判断の上、適切な手法を選択し実施することを想定しています。
3	仕様書：3（2）プロモーション事業の企画・実施について、新潟市が対象としたい層は若者・女性の関心を向上させることで間違いないか。	現時点で、若者・女性の関心が高くない、という点は大きな課題と認識していますが、その層のみをターゲットとしているわけではなく、あくまで今回整備するプロモーション戦略に沿い、各プロモーションにおいて、ターゲットを設定することを想定しています。
4	仕様書：3（2）プロモーション事業の企画・実施について、「食・観光・教育など」との掛け合わせによる事業について、特に市として連携を期待している業界・分野はありますか？	本事業において、補助・アドバイスを受け、策定するプロモーション戦略と関連する部分であり、現時点で特定する分野はありませんが、市民の認知度・関心を高めるには、環境分野に限らず、他分野との横断・展開が必要であると考えています。
5	仕様書：3（2）プロモーション事業の企画・実施について、潟フェス 2026 の企画・運営(出	必須項目はありませんが、出演者謝礼（司会・発表者・ゲストほか）及び会場使用料を

	演者及び開催場所の調整・費用負担は、本市にて行う）とあるが、見積に含めるべき項目はあるか。	除き、提案する渦フェス 2026 の内容に応じて、その企画・運営にかかる費用を下記を参考に記載ください。 （参考例） 発表会場：配信機材、映像オペレーター、カメラマンなど PR 会場：会場設営費、企画実施費、スタッフ人件費など その他：広告費（チラシ作成等）、ノベルティ作成費など
6	仕様書：3（2）プロモーション事業の企画・実施について、渦フェス 2026 の企画・運営につきまして、会場は仕様書に記載の想定会場の中から提案事業者が選択してご提案しても問題ないでしょうか？	提案して問題ありません。ただし、実際の会場については、会場の状況ほか各種条件にもよるため、提案した会場となるとは限りません。
7	仕様書：3（2）プロモーション事業の企画・実施について、渦フェス 2026 の企画・運営につきまして、会場備品（什器や照明等）のレンタルが必要な場合の費用についても発注者負担の認識で問題ないでしょうか？	会場貸出し什器や照明等、一般に会場費の一部と扱われるもの（同一の請求書に含まれるもの）については、市が費用を負担します。
8	仕様書：3（2）プロモーション事業の企画・実施について、渦フェスの企画・運営において、「発表会場」での運營業務の人員配置を行うあたり、受託者が行う業務項目と開催時間や参加人数などの業務規模感を教えてください。（業務項目とイベント規模等が運営人員の配置等に関わる為）なお、前回実施されたオンライン配信の必要性有無も教えてください。	渦フェスのうち「発表会場」については、市が直接進行業務（PC 操作含む）を行い、受託業者は一部の機器の操作（動画配信等）を想定しています。参考に、前回（2024 年 2 月）の発表会場の状況は下記のとおりです。 ・時間：3 時間 （13:30～16:30、受付は 12:30～） ・参加者数：概ね 200 名弱※ （※発表校が交代で出入りするため、延べ人数では約 320 名） 前回のオンライン配信（後日）については、主に各発表校の様子を、学校の児童・生徒、教員や家族が閲覧できるように行ったものです。今回（2026 年 2 月）も提案する場合はその旨を記載してください。

		【潟フェス 2024 の記録】 URL:https://www.youtube.com/watch?v=22qW_ooCP-w
9	仕様書：3（2）プロモーション事業の企画・実施について、潟フェスの企画・運営において、「PR 会場」での運營業務の受託者が行う業務項目と開催時間や参加人数などの業務規模感を教えてください。特に前回実施された企業・団体・市内小学校などの展示「潟に関する取組展示」や北欧工芸研究所の協力で実施されたワークショップなども受託者側の手配で実施するのか、それとも適宜、市の手配で設置などだけ業務として対応するのか等、受託者側が企画・実施する業務範囲について教えてください。	潟フェスのうち「PR 会場」については、市や各出展者が自らのブースの展示・運営を行うほかは、受託業者が会場全体の運営を行います。 出展内容については、市による募集と受託業者による企画の分担を想定し、協議のうえ実施しますが、ワークショップなどの体験ブースやスタンプラリーなどの企画については、受託者の業務として想定しています。参考に、前回（2024 年 2 月）の発表会場の状況は下記のとおりです。 ・開催時間：7 時間（10:00～17:00） （準備撤去時間含まず） ・来場者数：約 340 人 ・出展内容 ①行政・地域活動団体ブース（市が募集） ②体験コーナー（受託業者が企画（北欧工芸研究所等））